

## 第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

(令和2年度実績)

### 1 調査方法

基本目標の「数値目標」、及び各具体的な施策の「重要業績評価指標（KPI）」の前年度実績を確認するとともに、KPIの進捗状況について、次の凡例により段階的に評価した。

#### 【凡例】各年度の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」について、目標値に対する進捗度評価を行った。実績値/目標値による達成度に応じて、主にA～Eの5段階で評価している。

「A」：(100%以上) 目標以上に進捗しており、継続して事業を実施する。

「B」：(80%以上～100%未満) 目標に向け進捗しており、継続して事業を実施する。

「C」：(50%以上～80%未満) 目標に向け概ね進捗しており、継続して事業を実施する。

「D」：(25%以上～50%未満) 目標を下回っており、要因の分析をして事業を実施する。

「E」：(25%未満) 目標を大きく下回っており、内容によっては目標値または事業見直しを要する。

「-」：当該年度調査なし、統計調査未実施等により達成率の算出ができないもの。

### 2 調査結果

「基本目標」における「数値目標」の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況および評価

【基本目標】 1 活力と魅力あるしごとづくり				
数値目標		基準値 (平成 27 年)	目標値 (令和 6 年)	
従業者数 (非正規、外国人も含む)		29,406 人	29,500 人	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
※	—	—	—	—

※ 国勢調査の結果を確認後に反映する。

(1) 産業の成長を支える人材の育成・確保 (意欲的な担い手や後継者の育成・確保)					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
合同企業説明会における 就業者数 (採用)		4 人	10 人	—	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
—					
<p><b>【関連施策の実施状況】</b>            令和 3 年 3 月の大学等卒業予定者を対象として、令和 2 年 4 月に「三豊市・観音寺市合同就職説明会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染状況を考慮して中止となった。そのため、令和 4 年 3 月の卒業予定者を対象に、令和 3 年 3 月 17 日～18 日に「観音寺市 Web 企業説明会」をオンラインで開催した。参加企業 21 社、求職者の事前予約は 77 名で、当日視聴者の延べ数 (複数回視聴含む) は 278 名であった。このイベントに参加した求職者の採用状況は令和 4 年 4 月に集計を行う予定である。</p>					
<p><b>【今後の取組について】</b>            オンライン形式の説明会は、会場までの移動が無いこともあり、対面形式に比べて県外からの視聴、特に関西圏からの視聴が多く、広範囲に地元企業を PR できたが、求職者の表情が見えず、直接会話することが出来ないといった課題もあった。今後は対面形式による従来の実施方式を継続するが、オンライン形式の開催については、県や他市の動向も考慮しながら、有効性など総合的に検討したい。</p>					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
認定新規就農者数 (累計)		28 人	35 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
39 人				

【関連施策の実施状況】

認定新規就農者が自らの経営を確立する期間の資金（経営開始型）として、要件を満たす延べ 25 人に対し補助金を交付したほか、農業用機械・施設等（トラクター・パイプハウス等）の整備に対する助成を 10 人に行い、初期負担の軽減や経営発展・定着を図った。また、就農希望者を受け入れる里親育成事業により、先進農家の支援も行った。

【今後の取組について】

担い手の確保・育成のため、移住希望者の就農相談などを含めて各種支援を行っていくが、本格的な高齢化社会の到来で、今後ますます担い手の不足・耕作放棄地の増加が予測される。今後、魅力的で儲かる農業の仕組みづくりのため、農業分野を超えた連携が重要である。

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
森林整備面積 (累計)		0 ha	1.5 ha	E
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
0 ha				

【関連施策の実施状況】

森林の施業および保護等について定める森林経営計画を策定するため、森林組合と連携して大野原有木地区の 1 林班を対象地に選定した。また、林班内の大規模な私有林・人工林所有者宅を訪問するなどして、計画策定の見込みが立ったため、今後は、森林整備の目標面積を令和 6 年度までに達成できる見込みである。

【今後の取組について】

当該林班の森林経営計画の策定は目途が立ったが、実際の森林施業（一連の造林・保育・伐採）にはもう少し時間が必要である。今後も私有林・人工林の森林所有者への意向調査を行いつつ、森林整備面積の拡大を図りながら林業就業者の着実な確保・育成につなげていきたい。

(2) 起業創業支援や企業誘致の推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
中小企業経営改善資金利子補給実施件数と金額 (累計)		132 件 2,657,130 円	150 件 3,000,000 円	C

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
121件 2,159,763円				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
企業等誘致数 (累計)		0件	5件	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0件				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
サテライトオフィス誘致事業所数 (累計)		0件	1件	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0件				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
創業者セミナーの参加者数		10人	15人	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9人				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>中小企業経営改善資金利子補給事業では、新規で利子補給を実施した事業者はあったが、昨年度に比べると件数は減少している。</p> <p>企業等の誘致に関しては、令和2年9月に創業セミナーを実施したほか、サテライトオフィス誘致支援を行う民間事業者のセミナーに参加した。また、工場立地の促進については、助成制度のPRパンフレットの作成を行なった。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>中小企業経営改善利子補給事業を利用した事業者が減少したのは、3年間無利子等の新型コロナウイルス関連融資を利用する事業者や同融資で借換を行うケースがあったことが要因と考えられるが、今後も事業者が制度を利用できるよう、金融機関をはじめとした協力体制を維持していきたい。</p> <p>また、コロナ禍で創業希望者も減少傾向にあると考えられるが、希望者の掘り起こしのために、引き続き創業セミナーを実施するとともに、創業に関する相談の受付を行う。</p> <p>企業等の誘致に関しても、香川県・金融機関・不動産事業者等との協力体制を構築しながら、作成したパンフレットの有効活用方法を検討するとともに、誘致のための用地確保や、ターゲット企業の選定、企業進出のメリットの抽出等を検討する。</p>				

(3) 地域産業の競争力強化					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
製造品出荷額等		42,348 百万円	43,000 百万円	B	
令和 2 年度公表 (平成 30 年分)	令和 3 年度公表 (令和元年分)	令和 4 年度公表 (令和 2 年分)	令和 5 年度公表 (令和 3 年分)	令和 6 年度公表 (令和 4 年分)	
41,508 百万円					
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>地方創生推進交付金を活用した食料品製造業活性化事業では、令和元年度～令和 3 年度の 3 カ年で本市の主要産業である食料品製造業の活性化に取り組んでいる。令和 2 年度は市内食料品製造業の出荷額増加や人手不足対策のため、関連事業者からなる協議会を設立したほか、主に会員を中心として商品づくりのセミナーや商談に関する行事を実施した。同時期に設立された民間の地域商社についても市内及び県内他市を中心に、観音寺物産の販売など認知度向上に寄与している。また、観音寺ブランド認証推進事業では、新たに 3 品が認証品に追加され、補助制度を通じた認証事業者への活動支援を行っている。</p>					
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>食料品製造業活性化事業は、商品づくりのセミナーや商談に関する行事において、商品づくりや事業への着想を得るなど一定の効果があったが、各行事の実施について広く周知を行うことで、新規の参加者を増やす取り組みが必要である。地域商社についても、観音寺物産の売上増加のため、効果的に協議会と連携出来るよう支援していきたい。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、市のホームページや観音寺商工会議所・観音寺市大豊商工会の会報等を適宜利用するなど、広く市内事業者へ周知していく。</p> <p>観音寺ブランド認証推進事業についても、ポスターの掲示やスーパーなどでの観音寺ブランドの PR をおこない、認知度を広めていきたい。</p>					

【基本目標】 2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり				
数値目標		基準値（平成 28 年 9 月実施市民アンケート）	目標値（令和 3 年度実施予定アンケート）	
観音寺市に対する愛着度（一般）		愛着を感じている 46.5% 愛着をやや感じている 30.5% 計 77%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	実施予定	—	—	—
数値目標		基準値（平成 31 年 3 月実施子育てアンケート）	目標値（令和 6 年度実施予定アンケート）	
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合		42.7%	60.0%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	—	—	—	実施予定

(1) 子どもの成長を支える				
重要業績評価指標（KPI）		基準値（平成 28 年度）	目標値（令和 3 年度）	KPI の進捗評価
観音寺市に対する愛着度（高校生）		とても好きだ 20.3% どちらかというところ好きだ 48.2% 計 68.5%	とても好きだ どちらかというところ好きだ 計 75.0%	—
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	実施予定	—	—	—
重要業績評価指標（KPI）		基準値（平成元年度）	目標値（令和 6 年度）	KPI の進捗評価
市内小中学校のコミュニティ・スクール（学校運営議会を設置している学校）率		66.7% (10/15 校)	100% (15/15 校)	A

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
100% (15/15校)				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成元年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
市内小学校の地域学校協働本部設置率		0% (0/10校)	100% (10/10校)	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
20% (2/10校)				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>各小中学校において、地域の工場や事業所等の職場見学および講和、稲作やふるさと学芸館での体験（昔の地域の自然や人びとの営みに触れる）、長寿会の方々との交流等により、教科等の枠にとらわれない総合的な学習活動を実施している。また、「農作業体験」や「ふるさと学習」、「キャンプ」など、本市の歴史を学び自然体験や生活体験の場を通して人間関係づくりの直接的体験の不足を補いながら、早い時期からふるさとへの関心と愛着心が深まるような活動内容を計画・実施した。取り組みにおいては、指導者や体験場所について地域の方々の参画・協力をえることで地域とのつながりを深めており、地域の方々の温もりや自然に対して愛着心が芽生えている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた活動が中止になることがあった。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>各学校においては、創意を凝らし教育活動が展開されており、継続して実施する。</p> <p>伊吹島での洋上学習に関しては、船の定員減のため、いりこ漁の時期に実施する場合には、大規模校では学級単位の実施となるため日程が増加する、そのため、関係機関との日程調整をスムーズに行う必要がある。</p> <p>また、子どもの体験学習では、多種多様なプログラムを計画する中で、指導者を探し出すのが大きな課題であり、活動の募集は学校を通して行う為、学校の協力が必要であり、今後も学校の協力が得られるような体制を維持していく。</p>				

(2) 子育て支援・共同子育て推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 20～24 年)	目標値 (平成 30～令和 4 年)	KPI の進捗評価
合計特殊出生率		1.53	1.67	A
令和 2 年度 (平成 25～29 年)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1.69	—	—	—	
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
出生者数		436 人	406 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
334 人				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>生後 4 か月までの乳児のいる家庭については、家庭訪問により、子育てに関する様々な不安や悩みを聞き、情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言等を実施することで、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保に努めている。(令和 2 年度訪問件数 294 件) また、おおむね小学 3 年生までの児童の保護者が、一時的に育児や家事の援助が必要となった時は、子育てホームヘルパーを派遣し、児童の育児や家事を行っている。(令和 2 年度利用件数 138 件)</p> <p>平成 29 年 6 月に開設した「子育て支援センターほっとはうす萩」については、利用者が増加傾向にあったが、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で、休館を行ったこと等から利用者が減少した(令和 2 年度利用実績 11,523 人)。</p> <p>放課後児童クラブでは、保護者が共働き等により昼間家庭にいない小学生を預かり、その遊びと生活を支援しているが、公設のものは、伊吹小学校区を除く 9 校区 11 教室で行っている。年々利用希望が高まっており、平成 28 年度から、基準を満たした民間事業者に補助金を支出し、受け入れ枠の拡充を図っているほか、平成 30 年度からは、放課後児童クラブを巡回する専門指導員を配置したことによって、支援員の指導や児童のかかわり方を指導している。</p> <p>今回の新型コロナウイルス感染症拡大の影響等に対しては、小学校の休校時には学校の協力体制のもと、朝から開設し受け入れ対応を行った。</p>				



**【今後の取組について】**

乳幼児のいる家庭への訪問については、訪問家庭や子育て情報の共有を図り、関係課との協力連携など、相談支援体制の充実に務める。子育てホームヘルパーの派遣については、様々な方が利用できるよう広く周知を図るとともに、情報の共有化を図る。また、各家庭への訪問となるため、感染症対策に配慮する。課題としては、同じ利用者が利用している傾向がみられるため、援助が必要な人が利用できるように事業を広く周知する必要がある。

また、ほっとハウス菟などの子育て支援拠点では、新型コロナウイルス感染症対策のほか、休館した場合の活動も検討課題であり、多様なイベントを計画するとともに、民間事業者の施設への認知度向上にも取り組んでいく。

放課後児童クラブでは、利用希望者増加等に対応するため、支援員の研修実施や増員など、引き続き環境整備を進める。

**(3) 誰もが活躍できるまち**

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (平成 30～令和 4)	KPI の進捗評価
外国人の人口		653 人	1,800 人	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1,063 人				

**【関連施策の実施状況】**

地方創生推進交付金を活用した食料品製造業活性化事業において、令和元年度～令和 3 年度の 3 ヶ年で本市の主要産業である食料品製造業の活性化に取り組んでいる。

令和 2 年度は市内食料品製造業の出荷額増加や人手不足対策のため、関連事業者からなる協議会を設立したほか、主に会員を中心として、外国人材向けの日本語・生活マナー教育等の各種セミナー商品づくりのセミナーや商談に関する行事を実施した。

外国人材向けの日本語・生活マナー教育については、日本語教育等に実績のある大学講師を招いて、市内で働く外国人技能実習生が、正しいお辞儀や挨拶の仕方などを学ぶとともに、職場や地域における定着のため、ワークショップ形式で日本と自国文化の違いについて話し合うなど、日本文化に対する理解を深めた。

新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人向けのセミナーが中止になることはなかったが、感染症対策や参加人数を調整し実施した。

**【今後の取組について】**

外国人向けのセミナーや研修等を実施する際は、円滑なコミュニケーションのため、同一の言語圏でのグループで学習することや、日本語の習熟度に分けてグループ分けするなど工夫が必要であると感じた。

また、近年では、日本で就労をきっかけとして外国人の人口が増加しており、人手不足の業種を中心に外国人労働者の受入が進むと予想され、外国人を雇用する側に対しても最新の制度や利用方法を説明する機会を設けることも重要と捉えている。

そのため、令和3年度は、市内の食料品製造業者を対象に、近年創設された新しい在留資格である「特定技能」を中心とした外国人材受入に関して、制度説明および受入にあたり必要となる知識やノウハウを得るため、有識者等を講師に招いた、企業担当者向けのセミナー開催を予定している。

**(4) 女性が働きやすい職場環境の整備**

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数(累計)		21事業所	30事業所	B
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
25事業所				

**【関連施策の実施状況】**

「広報かんおんじ」にて働き方改革やワークライフバランス、ハラスメント等に関する記事を記載するなど、啓発を進めている。

令和3年度からは、市が推進する男女共同施策に賛同し、かつ男女共同参画の推進に関心のある市内在住者等が情報や意見の交換、学習などの連携を図りながら、主体的に男女共同参画の推進活動を行うことを目的として、「観音寺市男女共同参画推進サポーター」を新設した。

また、同じく令和3年度から「観音寺市男女共同参画推進事業補助金」を新設し、観音寺市男女共同参画推進サポーターとして登録している方で一定の要件を満たしている場合に、男女共同参画社会にかかるセミナーやイベントなどの学習事業・啓発事業を対象として、補助金を交付することとしている。

**【今後の取組について】**

今年度から新設された制度を含めて、事業者や個人および団体などへの周知を行い、制度の活用を促していく必要がある。

(5) 結婚を希望する男女を応援する環境づくりの推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
婚姻届受理件数		250 件	250 件	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
219 件				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>若者の結婚に対する意識を高めるとともに、男女の出会いの機会を増やすため、婚活イベントやかがわ縁結び支援センターへの入会を促進している。</p> <p>昨年度は、かがわ縁結び支援センター応援団体によるイベントを 1 件実施した。 (平口竹材店主催「ハイキング婚」)</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた婚活イベント 2 件が中止となった。(大豊商工会青年部が主催する「はるこい」、実行委員会(観音寺商工会議所・観音寺市商工会等で組織)が主催する「クリスマスの集い」が中止となった。)</p> <p>また、結婚を希望する独身者に向けた新たな出会いを後押しするため、縁結び支援センターの入会登録料 1 万円の 2 分の 1 を市が負担しており、令和 2 年度における利用者は 29 名となっている。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>かがわ縁結び支援センターの応援団体が少数であるため、イベントの実施企画自体が少ない傾向にあるので、市内事業所に縁結び支援センターの応援団体登録を促し、市内企業も一丸となって結婚への機運を高める。</p> <p>また、縁結び支援センター入会登録料の半額負担を継続し、その周知を効果的に行ない、会員数の増加を図る。</p>				

【基本目標】 3 新たな交流を生むまちづくり				
数値目標		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	
観光入込客数		141 万人	150 万人	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
101 万人				

(1) 観光・交流人口の拡大					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価	
道の駅 (2 か所) の総売上額		119,840 千円	120,000 千円	B	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	
97,823 千円					
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>観光・交流人口の拡大のため、観光案内看板を刷新したほか、観光協会の事業計画に基づき、本市の観光情報の発信等を継続実施した。来年開催される瀬戸内国際芸術祭 2022 に向けては、伊吹島における小中学生向け勉強会や高校連携に向けたフォト研修を開催するとともに、伊吹島や市内名所を巡る「ART SETOUCHI2020」の唯一の公式ツアーを開催することができ、催行人数(定員)の縮小及び新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した。</p> <p>アニメコンテンツ活用地域活性化事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う感染拡大防止の観点から、各種イベントなど予定されていた事業が未実施となった。また、観光客等の周遊しやすいルートを確保することにより交流人口および定住人口の増加を図るため、市道見卓新 20 号線事業および市道琴浜柞田川線事業を実施。市道の一部拡幅や舗装に向け着手した。</p>					
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>これまで同様、効果的な観光宣伝が行えるよう情報発信手法等について検討するとともに、観光協会を中心とした観光施策や情報発信が効果的に実施できるよう、今まで以上に観光協会の基礎体力の向上を図っていく必要がある。今後は、観光基本計画に沿った事業展開や観光協会独自の視点を取り入れた情報発信等を進めていく。</p> <p>来年の瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催に向けては、関係団体等との情報共有や事前準備の充実を図っていく必要があるが、担当職員の減員等が課題であり、連携強化のための顔の見える関係を構築し、専任スタッフの拡充を図ることが急務である。アニメコンテンツ活用地域活性化事業については、SNS 等を活用したより効果的な情報発信手法を研究するほか、令和 3 年度より活動を開始するアニメツーリズム活用地域活性化実行委員会において、アニメコンテンツを活用した地域活性化のための事業展開を進める。道路の舗装拡幅についても、基盤となる道路ネットワークを整備するため、整備対象の路線を追加して一部計画を見直す予定である。</p>					

(2) 関係人口の創出				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
がんばれ観音寺応援隊の隊員数 (累計)		136 人	200 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
208 人				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
ふるさと納税の寄附金額		187, 192, 067 円	800, 000, 000 円	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
839, 738, 032 円				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>本市の知名度向上やイメージアップに繋がる活動を実施し、地域と多様に関わる人々を拡大するため、シティプロモーション事業やふるさと納税推進事業を実施している。</p> <p>シティプロモーション事業は、ふるさと活力創生課・商工観光課・農林水産課・民間事業者連携のもと、東京や大阪の屋外施設で特産品販売、移住相談、観光PRを集中的に実施する、「まるごとかんおんじフェア」を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>がんばれ観音寺応援隊については、観音寺市を全国に向けてPRするボランティアサポーターとして登録し、歴史・文化・自然・食など、それぞれが日常生活の中で観音寺市のPR活動を行っているが、今回、香川大学の「瀬戸内地域活性化プロジェクト事業 観音寺班」の学生メンバーから多数の登録があり、令和2年度の新規登録者数は39名であった。</p> <p>ふるさと納税推進事業については、従来の寄附受付ポータルサイトに加え、2つのサイトを追加し寄附者の選択肢を増加させるとともに、返礼品も随時追加して品数を増やしたことが、寄附額の大幅な増加につながったと考えている。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>がんばれ観音寺応援隊の隊員には、各自で自由に活動してもらっているが、登録後、具体的に何をしたらよいかわからないという人もいるため、隊員の自由なPR活動に加え、市からも活動を提案していく。また年間のシティプロモーションの取り組みを紹介するなど、活動に対してより興味関心を持ってもらう。</p> <p>ふるさと納税推進事業については、寄附額の増加に伴い事務量が増加しており、人員が追いついていないため、寄附受領証明書発送業務やワンストップ特例申請書(税務申告用書類)の受付業務を外部委託し、事務の円滑化を図るとともに寄附額の向上を目指す。</p>				

(3) 学校との連携					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数 (累計)		15 事業	18 事業	C	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
14 事業					
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>市内小中学校と連携した事業として、工場や事業所等の見学、事業所の方からの講話や長寿会の方々との交流等、稲作やふるさと学芸館での昔の道具の体験など、地域の自然や人びとの営みに触れることで、教科等の枠にとらわれない総合的な学習活動を実施した。</p> <p>一部、新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた学習活動の中止があったが、職場体験活動は、学校に講師を招いての講話等に変更するなどして実施した。</p> <p>香川大学との連携については、学生メンバーからなる「瀬戸内地域活性化プロジェクト 観音寺班」の活動を支援した。廃校を活用したイベントの開催や地域商社と連携したイベントでの出店を行い、地域の方々との関わりを深めることができた。また、インスタ映えマップを作成し学生の視点で市の魅力を発信してもらった。</p>					
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>各学校において、創意を凝らし教育活動が展開されており、今後も継続して実施していく。</p> <p>香川大学との連携については、その年に大学側で授業を履修した学生の人数によって、市での活動内容にばらつきがでていたが、近年は多くの学生が市での活動に参加してくれており、継続的な活動が行えるようになっている。今後は、地域の課題を市から学生に提案するだけでなく、学生の視点で課題を発見し継続的な活動につなげていきたい。</p>					

(4) 移住希望者に向けての情報発信及びフォロー					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価	
転入者数		1,666 人	1,750 人	B	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	
1,516 人					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価
転出者数		1,860 人	1,750 人	A
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
1,682 人				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>移住希望者には、ホームページやフェイスブック、ツイッター等での情報発信をはじめ、香川県の移住フェア等における移住相談、パンフレットの配布等を行っている。また、県外からの移住者に対しては、民間賃貸住宅の家賃等の一部補助など各種サポートを行っている。東京や大阪における香川県の移住フェアは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったが、移住者向けの家賃補助の申請者は増加し、前年度対比で1.2倍となった。</p> <p>東京圏 UJI ターン事業については、国が、東京一極集中の是正及び地方の担い手不足対策を目的として、一定の要件を満たす移住者に移住支援金を支給する制度を、令和元年度から創設したが、「就業に関する要件」のハードルが高く、対象外となるケースが多い。</p> <p>空き家活用促進事業では、空き家バンクの制度により、空き家を売りたい方や貸したい方に空き家物件を登録していただき、その情報を市のホームページで公開するなど、利用希望者へ情報提供を図っている。昨年度の成約件数 19 件のうち、県外の人による成約は 5 件であり、空き家バンクの活用促進は移住の観点からも有効であると言える。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>移住希望者に対しては、本市を知ってもらうきっかけをつくるため、市のホームページおよび SNS 等による情報発信や、移住サイト「観音寺市で暮らしませんか」に最新の移住者のインタビューを掲載するなど、有効活用を図る。家賃補助については、申請件数が年々増加傾向にあるが、市の予算にも限りがあるため、この補助金が移住のきっかけとなるよう、対象者を限定するなど、効果的な仕組みを検討していく必要がある。</p> <p>東京圏からの UJI ターン移住支援は、利用者の増加を図るため、国のさらなる要件緩和（特に就業に関する要件）が必要と思われるが、令和 3 年度からテレワーク等が対象となることから、相談者や申請者が増加することが見込まれる。空き家バンクは、移住促進に有効であるため、無料の移住者向け雑誌に空き家情報を提供し、県外からの移住を促進する。</p>				

【基本目標】 4 持続可能なまちづくり				
数値目標		基準値（平成 28 年 9 月実施市民アンケート）	目標値（令和 3 年度実施予定アンケート）	
観音寺市に対する定住意向（アンケート）		住み続けたい 54%、どちらかといえば住み続けたい 23.8% 計 77.8%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	実施予定	—	—	—
数値目標		基準値（平成 30 年）	目標値（令和 6 年）	
住宅の新築戸数		249 戸	250 戸	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
216 戸				

(1) 周辺市町との連携				
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値（令和 6 年度）	KPI の進捗評価
新規広域連携事業数（累計）		—	1 事業	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1 事業				
<b>【関連施策の実施状況】</b> 観音寺市・四国中央市・三好市の県境を接する三市が、広域的に交流し連携をとることにより、県境における四国中央地域の活性化を促進することを目的として、四国まんなか交流協議会を設置しているが、令和 2 年度は、3 市の魅力発信を目的に情報発信事業（インスタグラムフォトコンテスト）を開催した。さらに、新たな取り組みとして 3 県の大学に通う大学生を対象に関係人口創出事業（3 市を巡るバスツアー）や 3 市周遊事業（スタンプラリー）を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、開催を中止した。				



**【今後の取組について】**

新型コロナウイルス感染症の影響により、交流や移動を促進できない状況のため、新しい形態の企画立案力が求められる。また、現在は観光・PR等に特化した事業が多くなっているため、今後多面的な事業を検討していく必要がある。今年度は、関係人口創出事業として新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくいオンラインバスツアーを実施する予定である。また、防災やSDGs等多面的なテーマで職員研修を開催し、広域連携の幅を広げていく。

**(2) 地域コミュニティの活性化**

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
地域サロン活動を実施している自治会数(累計)		8自治会	180自治会	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
8自治会				

**【関連施策の実施状況】**

住民同士の交流や地域の連帯感を高め、地域コミュニティの活性化や地域協働のまちづくりを進めているが、自治会活動支援は当初計画していた活動(総会等行事)が新型コロナウイルス感染拡大防止のため十分に実施できなかった。

地域サロン活動支援についても、3世代交流を通じて広く地域住民が参加し、コミュニティ活性化につながる活動として、当初25の自治会等から申請があったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため17の自治会等の行事が中止になった。

また、市民団体活動の促進のため、新しい公共の担い手として期待されるボランティア団体やNPO法人等が行う、地域の課題を解決するための自主的な活動について、申請のあった2団体に補助金を交付した。

地域おこし協力隊事業では、地域おこしや地域の暮らし等に興味のある都市部の住民を受入れ、隊員は地域おこしにつながる「地域協力活動」に従事している。令和2年度は、市内の2団体に地域おこし協力隊2名を導入し、地域と連携した自然や食のPRなど、まちなかや山間地域の活性化をはかるための取り組みを行った。

**【今後の取組について】**

地域サロン活動および自治会活動の支援については、周知方法等を工夫し、より多くの地域で活動が実施できるよう努める。

また、自治会とは異なる市民団体の発足が少ないため、補助金交付回数を見直し、市民団体の継続的な活動を促進することとしている。

地域おこし協力隊事業については、コロナ禍で隊員の活動が制限されている部分もあるが、地域おこし協力隊の活動自体を、より広く市民に周知する必要がある。隊員と受入団体との間で、より一層の交流および意思疎通を図るとともに、隊員と受入団体、隊員同士、隊員と市民、などの交流を積極的に実施していく。

(3) 住民の住みやすさ向上				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
のりあいバス利用者数		215 人/日	255 人/日	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
154 人/日				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
空き家バンクの利用 (成約) 件数		13 件	30 件	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
19 件				
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>のりあいバスの利便性向上や安全で効率的な運用、空き家の適切な管理や有効活用を促している。のりあいバスについては、平成 28 年度に路線の全面的な見直しを実施し、その後継続して利用促進に努めた結果、利用者数が伸びてきていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年比で 3 割ほど利用者数が減少した。</p> <p>空き家に関しては、老朽化して倒壊のおそれのある空き家等について除却や適切な管理を促進するとともに、利用可能な空き家については、空き家バンクへの物件登録を促進し、所有者と利用者双方のマッチングに取り組むことで、空き家の有効活用や流動化を図っている。また、一定の要件を満たす空き家のリフォームに対して補助金を交付することで、登録物件の成約を後押ししている。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>のりあいバス等の地域交通に関しては、公共交通機関から離れた地域住民の交通手段について考えていくとともに、利便性の向上や利用者数の増加に努める。</p> <p>空き家対策については、所有者等の把握が困難な案件や複雑な人間関係が問題の根幹となっている案件などについて、根気強い取組を続けていく必要がある。</p> <p>また、空き家バンク制度については、空き家の再発防止のため、空き家リフォーム補助金の対象物件について検討するとともに、市のホームページや固定資産納税通知書へのチラシ同封等による制度周知を行い、新規物件の登録や成約件数の増加を図る。</p>				

(4) 情報提供と広聴広報活動の強化				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
フェイスブックのフォロワー数		2,831 人	3,330 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
3,090 人				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
ツイッターのフォロワー数		3,280 人	3,780 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
4,464 人				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
報道機関への情報提供数		210 件	250 件	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
244 件				
<b>【関連施策の実施状況】</b>				
<p>本市では、あらゆる媒体を活用した広報活動の推進や、情報発信力の強化に努め、市の取組を PR していくこととしている。</p> <p>広報紙は、令和 2 年 10 月号が令和 2 年度香川県広報コンクールの広報紙（市部）部門と 1 枚写真部門の 2 部門で最優秀賞に、令和 3 年全国広報コンクールの広報紙（市部）部門で入選した。また、観音寺市くらしのガイドブック（第 2 版）を令和 2 年 7 月に発行し、市内全世界帯に配布した。</p> <p>ホームページの新型コロナウイルス関連情報については、閲覧者の利便性のため、令和 2 年 3 月よりサブサイトを作成し、情報を集約して掲載している。一日のアクセス数は、令和元年度が平均 3,362 件だったのに対し、令和 2 年度は平均 4,705 件に上昇した。</p> <p>ツイッターは、新型コロナウイルスに関する情報の掲載や、市内観光地の写真の掲載など、更新頻度を高め、フォロワー数が年間で 1,000 人以上増加した。</p> <p>フェイスブック等の SNS では、イベント情報や魅力発信を随時行っており、インスタグラムでは、観光促進のため、フォトコンテスト「#観音寺に来ました」キャンペーンを行い、市外観光客の増加を図った。</p>				

**【今後の取組について】**

報道機関への情報提供数や、ホームページの魅力や視認性といった部分には課題があるため、関係各課に報道機関への積極的な情報提供を依頼する他、ホームページリニューアルに向けた情報収集を行う。

インスタグラムのキャンペーンについては、引き続き実施する予定で、一部の人だけでなく、誰もが気軽に参加したいと思えるような内容にすることで、より多くの人に参加してもらえるよう工夫する。また、投稿された魅力的な写真が、効果的なシティプロモーションにつながるよう活用方法を検討する。